



おがわむら

議会だより

Ogawa Village Council Newsletter

今年の夏も楽しく遊べますように！



6月定例会	2～4
一般質問（質問順）	5～10
小川村議会	
「お邪魔します！」	11
委員会活動報告	12～13

ご意見・ご感想をお寄せ下さい
メール
gikai@vill.ogawa.nagano.jp



小川村議会

検索

議会月会 6 定例会

令和8年度 一般会計補正予算を可決

防犯カメラの設置、道路維持補修費等の補正予算



令和8年6月定例会は、6月4日から17日までの14日間開かれ、条例案2件、補正予算案4件を審議し、全て可決した。

一般質問には6人が登壇し、村政について質問した。

●議案第31号 条例案概要
こども誰でも通園制度の事業者が給付を受けるための確認基準を定めるもの

質疑

山本議員 以前の定例会で全国的に柔軟な利用枠で提供される一般型支援との事であった。今回の支援事業は何を重視したものなのか。

住民福祉課長 全ての子供が健やかに成長する為に適切な環境を等しく確保される事を重視したもの。

山本議員 今回の特定乳児等通園支援事業は前回との違いは。

住民福祉課長 乳児等通園支援給付を受ける際の基準を定めたもので、対象児童、運営方針、実施範囲に違いはない。根拠法令は特定が付かない場合は児童福祉法。特定の場場合は子ども子育て支援法を根拠としている。

山本議員 子ども家庭庁より周知されている、運営に関する基準の整備などの経過措置の範囲と期間は。

住民福祉課長 3月議会の支援事業は令和8年3月31日となっていたので、急いで議決してもらった。今回の条例は令和9年3月31日までである。

小林議員 適用は4月1日となっているが、この議会で決まったら2か月間に適用者はどのくらいあるのか。

住民福祉課長 政令では4月1日となっているが、事務負担の考慮によって令和9年3

月31日までの経過措置が設けられた。今現在までの申請はない。

小林議員 3月定例会に出せなかった理由は何か。

保育園長 3月提出の支援事業の事務準備や整理に期間を取られた為、煩雑にならない様、事務処理に猶予を頂いた。

賛成討論

■議案第31号

塚田議員 事業者が給付を受ける際の基準を明確に定めるものであり、新規に取り組む為に計画的な実施が進められた。実行の第一歩として賛成する。

山本議員 試験から本格導入までの期間が短く制度の脆弱性や子供の負担、保育園が抱えるリスクなどが懸念される。保育の受給権利のもと、2歳以下の子供に保育の場提供の必要性が広く認められるのは大きな前進と捉え賛成する。

●議案第32号 条例案概要
精神障害者保健福祉手帳交付者に入院に係る療養の給付を対象とするもの

質疑

坂井議員 重要な施策であり、経過の説明を求める。

住民福祉課長 福祉医療の不均衡の是正とさらなる向上を図ることを目指している。精神障害者の入院時の経済負担が重く、長年にわたり是正の要望が強く求められていた。県の要綱が改正され小川村においても障害区分の公平性の確保、対象範囲を拡大したものの。精神障害者の1級2級についての助成の違いはない。

坂井議員 非常に大事な案件で、しっかり広報していく必要がある。

住民福祉課長 全対象者に対し一斉にお手元に届くよう進める。広報やホームページ、関係団体を通じ十分に周知を図っていく。

賛成討論

■議案第32号

坂井議員 この条例を待ち望む村民が大勢いる。スピード感をもちた対応を要求し賛成とする。

●議案第33号

一般会計補正予算案概要
防犯カメラの設置、びっくらんど小川検討委員報酬等、計7千323万円の追加をするもの

質疑

山本議員 防犯カメラの設置のスケジュール、耐用年数、設置目的、撮影範囲と定めはどうか。

総務課長 警察の事前調査に2か月程かかる。速やかに申請し、補助金交付決定で8月から9月頃の設置。その後の手続もあり、運用は早くても年内と見込む。

耐用年数は7年。24時間撮影可能であり、犯罪抑止効果の認識をしている。犯罪発生時の捜査にも大きな役割を發揮する。防犯意識の高まりと安全の確保、安心な暮らしの環境整備にもなるがプライバシーの配慮も必要。

設置場所等は警察と相談の上、役場北西部の外壁を予定し、録画装置は宿直室。小学校の正門部分を撮影予定。

新井議員 防犯カメラ設置について今後、他の場所の予定はあるか。

総務課長 現段階ではこの1台。委員会での提案もある中、今後の検討課題として考えていきたい。

小林議員 防犯カメラのチェックはどの様にするのか。保存期間はどのくらいか。

総務課長 プライバシー保護の観点もあり、有事の際に確認する。保存期間は120日間。何れにしても警察と相談の上で進めたい。事前に内規等を整えていきたい。

和田議員 防犯カメラの設置予定箇所では半数の児童生徒しか対象にならない。他の設置場所も設けるべきではないか。

総務課長 付随の設備と場所も必要になる。必要性について学校にも相談しながら検討していく。

小林議員 子育て支援事業費の子育て短期支援19万3千円の算出根拠は。当初予算では見込めなかったのか。

住民福祉課長 1日あたり1万7百円を月に3日で、6か月分。当初には申請がなく、その後に申請があったので上程した。今後、実績を見て通年計上もしていく。

小林議員 商工振興費として

借入金の保証金の補助が有るが、運営支援金としての助成は出来ないか。

建設経済課長 利子補助も行っている。物価高騰対策やコロナ対策などを外部にて色々行っている。その補給または保証料という事で継続してやっていく。

小林議員 住宅費、職員用公営住宅としての補充整備が必要ではないか。

総務課長 改修と建替えについては計画性も含めて検討すべきと捉えている。

和田議員 びっくらんど小川のあり方検討委員会予算、スケジュールと諮問の実施はどうするのか。

総務課長 委員20人以内で予算計上は15人分5回の会議予定の報酬。公募をして7月中下旬に1回目を予定している。経過説明、利用実績、必要性、財政負担、今後の想定される場面で、修繕で限界までの使用や冬期間の工夫などを提示していきたい、委員会を検討する中で村としての対応方法が見えて来る。最後の5回目にて答申を得ていきたい。

松本議員 検討委員会の答申

は、次年度予算編成に反映との事であるが、スケジュール的に余裕がない。3回目に行政より経営改善の方針を出して委員会の方針がまとまるようにすべきと思うが如何か。

総務課長 大きな影響が見込まれる委員会になろうかと思う。拙速なまとめでは無く、柔軟にスケジュールも含めて検討していく。

坂井議員 企業センター運営費、コピー機故障の原因と今後の対処は。

住民福祉課長 製造より10年以上の経過で修理不能との事。今はリースで対応していく。

● 議案第34号

国民健康保険特別会計

補正予算案概要

事業勘定は印刷製本費の追加、診療施設勘定は医療事務指導委託料を計上するもの

質疑

山本議員 医療事務指導費用について対処方法の見解は。

住民福祉課長 最低限必要な専門知識の指導費として予算化した。色々な有効手段もあるが、今回はマンツーマン指導で現場の即戦力化をしたい。

山本議員 もっと早くの対処

が必要だったのではないか。

住民福祉課長 当初、電子カルテメーカーより無償の指導をしてもらっていた。その後の不測事態時には看護師に確認対応してもらっていた。現場負担の減少を図る意味でも未経験職員の専門的、継続的な操作と指導が不可欠との判断をした。業務停滞を解消し、患者を待たせない円滑な運営と未経験職員の早期スキルアップを図りたい。

今までは、前任者が指導していたが新部署になって対応できかねる状況。この委託費は時間当たり1万円と高価でもあり、即の対応が必要な時は都度々看護師に聞いていた経過で、看護師の仕事の圧迫にもなっていた。

小林議員 前回までは前任職員とのコミュニケーションで対応していたものが、なぜ今回は出来ないのか。どんな対応で時間当たり1万円の支払いをするのか。

住民福祉課長 ある程度理解した時点で指導を仰いだ方が効果的と考えている。併せて診療報酬改定時の対応指導も考えている。

賛成討論

■ 議案第33号

和田議員 防犯カメラ設置による効果を期待する。県の補助金を利用したもので、今後の増設にも期待が持てる。びっくらんど小川あり方検討委員会で利用者や村民の声が反映され、施設のあり方や方向性が明らかになるのを期待する。修繕費等においても事業遂行上緊急対応が必要である。地区要望や橋梁補強の案件に応える予算についても評価できる。教員校務支援や公民館の地震被害補修、社会的保育の場の必要性の認識拡大の前進を認め賛成とする。

山本議員 防犯カメラの設置については犯罪抑止、意識の高揚、安全な暮らしの環境整備になる。もっと早くの事業執行が有ってもよいと思う。びっくらんどの検討委員会においてはまだまだ不明慮さが見えるが、住民が安心して暮らせる福祉の向上と村政運営に必要と捉え賛成とする。

令和8年第2回臨時会が4月22日開かれ、専決処分事項の承認案2件、一般会計補正予算案1件について審議し、原案通り承認・可決した。

第2回臨時会

4年間村政運営に関わらせてもらいました。誠心誠意全力の中で、豪雨災害、J-A移動販売の中止、歯科医院の閉院、路線バスの廃止等々、大きな問題発生の4年間で、訴訟の提起や財産処分といった対応もありました。議員や村長、職員の協力を得ながら務めてきました。大変感謝いたします。今後は機会があればこの経験を村民にお返し出来たらと思っています。行政はマイナスを0にするもの、参席の皆さんもその信念を持っているので、村政発展の為に重責を果たしていただきます様、祈念申し上げます。

小林副村長退任の挨拶（抜粋）

賛成討論

■議案第34号

山本議員 医療事務指導費については2か月が過ぎた中で、問題の表面化対処の案件とも思える。行政は法律を実施するだけでなく、村民の安全と公平性、利便性確保の為に公共サービスの継続的な提供をする重要な役目を担っている。後手にならない様、人事配置や指導、先手を打った研修が必要。以上の指摘をし、賛成討論とする。

小林議員 医療事務についてはある程度の専門性と専従性が必要と感じる。毎年の人事で初期化に対する対応問題の可能性のある中で、人事異動については人で動かすのではなくポストで動かすべきと思う。必要だからそのポストがある。発言力のある人は職員の萎縮や住民サービスの片寄り、低下につながらない様望む。一番言いたいのは議会の議員として、ただ賛成でなく、住民の代弁者として村民益となることを望む。



私は
こう判断

令和8年6月定例会 令和8年第2回臨時会 議員・議案ごと賛否一覧表

○=賛成 ●賛成討論 ×=反対 ✕反対討論 欠=欠席 退=退席 (議長は議決権はないため空白)

議案番号	議案の内容	審議結果	坂井正	新井幹夫	塚田綾子	和田一秀	小林和人	大久保利廣	山本陵	峰村正一	松本敏照	西沢哲朗
6月定例会												
31	小川村特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	○	○	●	○	○	○	●	○	○	
32	小川村特別療養費支給条例の一部を改正する条例制定について	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	
33	令和8年度小川村一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	●	○	○	●	○	○	
34	令和8年度小川村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	●	○	●	○	○	
35	令和8年度小川村村営バス事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
36	令和8年度小川村介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

第2回臨時会 (R8.4.22)

28	小川村税条例の一部を改正する条例制定について(専決処分)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
29	令和7年度小川村一般会計補正予算(第9号)(専決処分)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
30	令和8年度小川村一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	●	○	●	○	○	

陳情	提出者	付託委員会	審議結果
陳情3号 (継続審査分) 「最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	・長野県労働組合連合会 議長 細尾 俊彦 ・長野地区労働組合 総連合 議長 阿藤 仁	総務建経 常任委員会	不採択
陳情4号 消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬など、薬の追加負担を行わないことを求める陳情	長野地区社会保障 推進協議会 会長 菅田 敏夫	社会文教 常任委員会	採択
陳情5号 社会福祉法等の一部を改正する法律案の慎重な審議を求める国への意見書提出を求める陳情	信州ケア社会を考える会 代表 小林 純子	社会文教 常任委員会	採択

村内の残土処理場 現状はどうなっているのか

村長 瀬戸川の処理場は地権者と20年の賃貸契約を締結している
まだ8,000m³が処理出来る



新井 幹夫 議員



瀬戸川の残土処理場

村長 瀬戸川の処理場は、令和3年、地権者25名の方と20年契約で令和22年までとなっている。埋め土が完了した後の換地はしない契約で、総面積は1万7000m²。今後、8000m³の残土処理が可能だと見込んでいる。新たな予定地も確保している。

問 村内の2箇所の残土処理場について、舞袋処理場は先日の委員会でも現地調査をした。今期議会に土地取得費の計上がある。現状は既に一杯で今後の活用がまたれている。

瀬戸川の処理場は令和3年に地権者の同意を得て開設されたと聞いているが、今後どの位、使用可能なのか、既にどの位投入されたのか伺う。



舞袋の残土処理場(委員会調査)

問 瀬戸川の処理場は暫く使用出来る事が分かった。舞袋の処理場はどうするのか伺う。

村長 瀬戸川の処理場は、契約が令和22年までであるので、地権者と協議して進めていきたい。

舞袋処理場は、県工事で発生した残土を処理する場所である。この部分には、まだ残土が入っていないため、見た目が良くない。地元要望等も出されているので、今後地域の皆さんと検討していきたいと思っている。

奨学金

問 入学準備金と奨学金の貸与額を引上げて欲しいと声が私に寄せられた。貸与条例は、昭和42年に作られ、既に11回改正されているが、勉学に意欲を燃やす学生のために引上げを検討すべきと思うが、教育委員会の考えを伺う。

教育長 平成20年に高校生月額2万5千円、大学生月額3万円に増額する条例改正を行った。また、令和5年には、入学準備金を新設した。今後、保護者の声を聴き、教育委員会で検討・協議していきたいと思う。

案内標識・看板

問 国道18号線、19号線、あるいは県道等に小川村の文字が入った案内標識が少ないと思う。

現在は、自家用車にカーナビが設置されており、どこから小川村を目指しても到着時間まで教えてくれる時代ではあるが、国道・県道の案内標識、看板に小川村の表示が出ないか、関係道路機関に要

請してはどうかと考えるが、如何か。

村長 国道・県道からの道路案内が少ないのではないかとという質問だが、看板や標識が少なくても小川村に來られないとの話は聞いていない。

桜の季節になると、村内に來てから、立屋・二反田の桜の場所への問合せがあることは承知している。

道路管理の機関が管轄する案内標識については、観光協会等と相談して、検討させて頂きたいと思う。



大町市境にある案内看板

一般質問

やまもと
山本

りょう
陵

議員

A portrait of Yamamoto Ryō, a member of the Japanese Diet. He is a middle-aged man with short dark hair and glasses, wearing a dark suit jacket over a white shirt. He is looking slightly to the right of the camera. The background is a plain, light-colored wall.

「ひこくさん」と

びっくらんど小川の室内プール



いては、今議会の補正予算の中でも、検討委員会の委員報酬として掲示している。

予算決定後、公募による委員を選出し、7月中旬には第1回の検討委員会を開催し、全5回ほどの検討委員会を想定しており、年内には、今後の修繕改修等も含めて、一定の方向性を見出せればと考えている。

や希望とは異なり、現

実的な根拠や戦略に基づき、達成可能な将来像を描くことが重要と考える。



びっくらんど小川の25mプール

村長 村民の方々と作り上げた、第6次振興計画

村 げた、第6次振興計画があり、現在後期5カ年計画に入っているが、これに勝るビジョンはないものと思っている。

ジョーンに関し、「職員
の力が大きく、それぞれの担
当の部署によって職員が常か
ら考えている」と述べられた
が、職員と首長とのパイプ役
である副村長が果たすべき役
目とその役割と今後の方向性
を伺う。



第6次振興計画・後期基本計画

村における平和教育とは

問 小川村における平和教育の意義と現状を伺う。

教育長
報道等で問題になっている辺野古の平和学

習と、小川小中学校の平和教育は、全く別物です。小川中学校の平和教育の目的は、2年生の平和学習では、長野県内、村内の施設や戦争遺構等の見学や説明を聞き、歴史や事実を学び、自分の生き方や平和への思いを持つことで、3年生では、広島原爆ドームや平和記念館を訪ねたり、戦争体験者の話を聞いたりすることを通して、平和に対する思いを深め、我が国や郷土を愛する心を育てることで、自己を見つめ直し、将来の生き方に大きな糧となっているものと自負している。



宿泊税導入に伴い小川村観光とホームページの今後について



みねむら しょういち 議員 峰村 正一



村長 観光行政とホームページ活用を含め
村のPRを積極的に取り組んでいきたい

問

長野県宿泊税導入が6月1日から開始された。宿泊税の目的は各自治体の観光振興、観光資源の充実、環境整備の施策を要する費用に充てる為である。

小川村は、素朴な自然環境を中心に、日本で最も美しい村連合、日本の里100選に選ばれており、雄大な北アルプス連峰の眺望・景観をもっと打ち出すPRが必要だと思っている。

小川村観光協会のホームページ上に、1年間の小川村の行事予定表や星の情報等を載せたり、春夏2回あるダイアモンド鹿島槍の情報を載せるなどして、多くの人達に興味を持って頂き、小川村に足を運んで頂きたいと思うが、村長の考え何う。

村長

宿泊税についての村の税収、村の配分額の詳細については理解していないが、使い道は観光事業と言う事である。村の観光推進に貴重な財源として活用できるのか今後検討し積極的に取り組んでいきたい。

村の観光事業全体、ホームページについては、観光行政、観光事業はもとより、小川村の農山村の素朴な自然景観、アルプス展望、桜シーズン等、又、移住対策を含めて村のPRを積極的に取り組んでいきたい。



雄大な北アルプス連峰

問

ホームページ上に、北アルプス連峰の五竜岳の武田菱や、爺ヶ岳の種まき爺さんなど、春の雪解け時期に現れる雪形で、小川村にも春が来て農作業が始まるよう目安とされてきたことを載せるなど、今一度ホームページを見直し村全体の活性化に繋げる事が大切だと思うが再度、村長の考えを伺う。

村長

ホームページも、最新のものに変更し見直しを図りたい。

問

県内外で友好姉妹都市等の考えはないか伺う。

村長

奄美市住用町との交流は、自治体合併等に伴い難しい部分もあり令和6年度で交流を打ち切った。愛知県の東浦町とは歴史的なつながりもあり、今後の交流も大事にしていきたい。

問

中学生農業体験移動教室の復活は如何か。

村長

当時は受入農家の高年齢が一番問題になり中止となった。相手の学校も大変残念がついてた。改めてという事になると、農業振興推進協議会等、農家の方々、受入状況等の考えを含めて検討していきたい。

教育長

子供達が自然や社会の現実に触れ感動したり驚いたりしながら問題意識や考えを深めるなかで学び、そのなかで得た知識や考え方を元に、更に自らを高めていく、子供達の体験活動の機会を豊かにすると言う事は極めて重要だと思う。

問

今後の緩衝帯整備について伺う。

村長

予算を増やし、地域の皆さんにも相應の管理をして頂きながら進めていきたい。



自然豊かな田園風景

又、事前に学校各受入先が相当な準備をする必要がある。



副村長人事はどうなるのか

一般質問



こばよりひと 小林 和人 議員



村長 現在のところは欠員と 考えている

副村長人事

問 今回の人事についての経緯や経過はどうか。

村長 本来は定例議会に提出すべき案件だが、今回は後任の具体的な方もないので欠員と考えている。

問 前期は議会も同意して副村長を置いていた。今後には設置との事だが、今まで存在していたものを無くして、議会にも一言も話が無いのはおかしくないか。今回の人事を理解している議員もほとんど居ないと思うが如何か。

村長 私も多くの方より支援や力添えを頂いて3期目となっている。今迄の延長や継続でなく、新たな気持ちと体制で村政運営に取り組みたい考えである。
議会で話をしなかったのは、提出議案に無いものを話すわけにはいかない。年度スタートで人事において、各々も勤務等の都合もあり提出議案には至らなかった。

問 議案に無くても、今回の人事はこう考えているとの話が合って当然と考えるが如何か。

村長 全員協議会での議案説明時には議員より質問がなかった経過でもある。改めて、この本会議で話させていただく。前期からの延長ではなく今回は新たな体制、人事、気持ちで村政運営に当たりたいの一言となる。

問 職務代理者としても、職員とのパイプ役としても必要だと思っている。トップダウンが全てとは思わない。

本席に当事者の副村長もいるので、見解を伺いたい。

副村長 公務員としての立場でしか、この場面での発言は出来ない。一言でいえば「是非に及ばず」という事。人事権は村長にある。それが率直な感想。

問 今後、副村長が不在の中でその部分まで背負う総務課長の見解を伺う。

総務課長 業務負担の増加や様々な懸念がされる事を厳粛に受け止めている。大きな存在であったので容易ではないが、組織の見直しをして、各課長共々職責を全うしていきたいと思っている。

歴史文化施設

問 瀬戸川グラウンド西側に、北小川役場跡、学校跡として石碑がある。しかし、役場跡は少しずれている。世代が移り存在を知らない状況下で、存在地として、後世に伝えていく施策は無いが伺う。



北小川村役場 跡



北小川村役場、学校跡の石碑

村長 旧役場跡地は村名義の所有地であり、管理下になる。残念ながら荒廃地化してしまっている。存在が記憶に失っている状況で、役場跡地として残すべきと思う。地元住民とも相談しながら、村として早々に考えていく。

教育長 史跡扱いとして文化財指定は考えていない。地元や団体として指定を願うなら、要望書等を出すなどの後、文化財審議委員会にて結論を出すという道もある。
その後の管理においては地区に要望するという事になると思われる。そんな道筋はあるかと思う。

平和学習の萎縮の懸念は



塚田 綾子 議員



教育長 従前同様 自信を持って推進したい

問 名護市辺野古沖の転覆事故に関し、文科省が教育基本法違反と判断した『政治的中立性』をめぐる厳しい判断について、教育現場を預かる立場としてどのような受け止めをしているか伺う。

教育長 報道等より中立性の懸念、違法学習への関与のリスク、一方で教育内容への権力の介入、平和学習・主権者教育への萎縮、の指摘がある。

選挙年齢は18歳となり高等学校での政治事象を扱う機会が多くなりつつある現在、行事等の活動、政治学習、主権者教育、平和学習等が後ろ向きになってほしくない。

問 多角的な視点を確保することについて考えを伺う。

教育長 学習が深まるような多面的な資料が準備され、その資料をもとに追求できるような学習を行なっている。様々な教材を用意することも大事。

問 安全基準や危機管理マニュアル等の見直しについて伺う。

教育長 安全に関しては、行事ごとに危機管理マニュアルを作成し緊急時の対応の仕方等、事前学習し修学旅行等を行なっている。旅行者について問題点は感じていない。

庁内組織とデジタル化

問 職員の負担軽減へのデジタル化について、現状をどう把握しているか伺う。

村長 業務の中でもデジタル化が進んできており、効率化、簡素化、情報管理などの面からも職員の負担はかなり軽減されている。

問 紙業務に加えデジタルへの対応が増えたことで業務量は増えているが、その負担軽減についての考えを伺う。

村長 特に考えてない。



たくさんのパソコンを使って処理を行う職員

問 業務の見直しやスリム化で負担軽減できないか、考えを伺う。

村長 業務内容と量も変化した。国や県の業務はスリム化にはならない。

問 庁内のネットワーク環境の整備についての考えを伺う。

村長 各担当の日常業務の中で利用しており、全庁内で簡略化することにはならない。職員の中から提案があれば検討しながら進めていく。

問 日々の業務をこなしながらでは無理があると思うので専門的な外部人材の活用や、サポートチームが必要と思うが、考えを伺う。

村長 専門分野の講習も行っている、又この面に長けている職員もいる。状況に応じて研修も行なっていく。

問 副村長が不在となれば、多くの課題を村長が1人で、または各課が個別に抱え込むことで、逆に政策のスピードが落ちるのではないかとという声もある。横断的な実務について、どう対応していくのか伺う。

村長 横断的な業務はないとは言わないが、国も県も村も縦割り行政である。

問 地区要望の、要望書の作成業務のデジタル化の検討の考えを伺う。

村長 今まで通りでいいと思うが、地域の声を聞き検討する。

シルバー人材センターの在り方



まつもと としあき 議員 松本 敏照



村長 当村の人材活用センター
15人前後が登録して現在活動中

問

長野市を中核自治体
とし、信濃町と飯綱町

長野シルバー
人材センター
(広域センター)
への加入検討を

村長

村にも人材活用セン
ターがあり、現在15人
前後の皆さんが加入し、今の
ままで十分活動出来ている。

も参加する「公益社団法人長
野シルバー人材センター」に、
当村も支援自治体として加わ
ることによって、①村内各地
域の共同作業（生活道路や水
路の草刈り・泥上げ等）が
困難となる集落の支援、②公
共施設の管理や清掃作業等、
③村内の景観美化に係る軽作
業などを自治体として業務発
注する一方、村内の働ける高
齢者を雇用面で組織化できる
と共に、煩雑な契約管理・労
務管理・就労スケジュール
管理等をセンター側に委ねる
ことで、全ての当事者（セン
ター・加入自治体・登録労働
者）にとって、有益かつ有意
義な連携関係を築く事ができ
ると考えるが、村長の見解を
伺う。

問

国は、高齢者人口が
ピークになる2040
年には、高齢者の4人に1人
が要介護になると予測する。
本村においてはどうか予測する
か伺う。

高齢人口2040年問題

村長

村の65歳以上の高齢
者の割合は、令和に入
ってからずっと46%のままで
ある。2020年、高齢者人
口は1136人、要介護者数
は228人で要介護認定率は
20%。2030年の高齢者人
口は922人、要介護者数は
206人で率は22%。204
0年の高齢者人口は764
人、要介護者数は176人で
率は23%と予測している。そ
んなに要介護者数が増える
とは予想していない。

※ 下表の人口・高齢者人口…2020年及び
2025年は「国勢調査」の値を、2030年～
2050年は「国立社会保障・人口問題研
究所」の予測値から引用しています。
※ 下表の要介護認定者数（要介護者＋要支援
者）は、村長答弁から引用しています。

国・長野県・小川村における

総人口・高齢者人口・要介護認定者数等の予測

		2020年 国勢調査	2025年 国勢調査	2030年 予測値	2035年 予測値	2040年 予測値	2045年 予測値	2050年 予測値
総人口	国の人口 千人	126,146	123,050	120,116	116,639	112,837	108,801	104,686
	2020年との比較	100.0%	97.5%	95.2%	92.5%	89.4%	86.3%	83.0%
	県の人口 千人	2,048	1,955	1,899	1,822	1,743	1,663	1,582
	2020年との比較	100.0%	95.5%	92.7%	89.0%	85.1%	81.2%	77.2%
	村の人口 人	2,215	2,010	1,700	1,496	1,309	1,141	991
	2020年との比較	100.0%	90.7%	76.7%	67.5%	59.1%	51.5%	44.7%
高齢者人口	国の高齢者人口 千人	36,027	36,529	36,962	37,732	39,285	39,451	38,878
	2020年との比較	100.0%	101.4%	102.6%	104.7%	109.0%	109.5%	107.9%
	高齢化率	28.6%	29.7%	30.8%	32.3%	34.8%	36.3%	37.1%
	県の高齢者人口 千人	655	655	657	664	683	680	658
	2020年との比較	100.0%	100.0%	100.3%	101.4%	104.3%	103.8%	100.5%
	高齢化率	32.0%	33.5%	34.6%	36.4%	39.2%	40.9%	41.6%
	村の高齢者人口 人	1,017	933	842	770	716	640	568
	2020年との比較	100.0%	91.7%	82.8%	75.7%	70.4%	62.9%	55.9%
	高齢化率	45.9%	46.4%	49.5%	51.5%	54.7%	56.1%	57.3%
	要介護認定者数	228	206	-	-	176	-	-
	要介護認定率	22.4%	22.1%	-	-	24.6%	-	-

小川村議会「お邪魔します！」開催



広報公聴常任委員会では、気軽に参加でき大勢の皆さんから意見を聞くことを目的に、地域に向いて声を聞く活動をはじめました。

第一回目は、瀬戸川の「くつろぎの郷」で6月21日（日）16時から、小川村議会「お邪魔します！」と題して、出張語る会を開催し21名の皆さんが参加され、様々な角度からご意見を頂きました。

貴重なご意見は、今後の議員活動に生かすと共に行政へもお繋ぎさせていただきます。

お聞きした意見・提案・要望をいくつか紹介します。

- ◆ 出張語る会は初めての試みで興味があり期待して参加した
- ◆ この様な場所は初めてだが、村づくりに興味があり参加した
- ◆ この様な会はテーマがあった方が話しやすい
- ◆ びっくらんど小川あり方検討委員の選出方法と検討内容は
- ◆ くつろぎの郷などの公共施設は行政で草刈りをしてほしい
- ◆ 災害時避難場所になっている、地域公民館の水道料金等の維持費免除等考慮してほしい
- ◆ 火災の放送は当事者でないときは個人名を出してほしくない
- ◆ 高齢化や少子化、人口減少が進むなか村の将来はどうなるのか、議会でも考えているのか
- ◆ マンパワー不足を、関係人口やふるさと村民を増やして、遊休農地の耕作や山の整備・草刈りなどの村づくりの一翼を担ってもらってはどうか
- ◆ 道の駅は駐車場の再整備等もっと活性化する取り組みをしてほしい
- ◆ 地域づくりのお手伝いをできる人の移住促進をしてほしい
- ◆ 村民に伝えるメディアが少なく、情報が伝わらず知らないことがある
- ◆ 災害時に有効な携帯電話が村内全域で通話できるように働きかけてもらいたい
- ◆ 移住者を増やすことも重要だが、今住んでいる人が引き続き安心して住み続けられるような村づくり（特に福祉の充実）を望む
- ◆ シニアクラブ主催の、村長と語る会は後援会活動と混同したもののにも思え疑問を感じる



今回ご参加いただき貴重な意見を頂戴した皆様に感謝するとともに、今後も議会と住民の距離が更に縮まり気軽に参加できる会となるよう取り組んでまいります。

いただいた意見はとりまとめホームページに掲載していきます。

閉会中の委員会活動

5月13日（水）、委員全員のほか議長、委員外議員4名が出席し、村内の現地視察、所管事務調査を行った。

《管内視察》

道の駅おがわ急速充電器

道の駅おがわの駐車場西側に2基設置されている。利用者は当初の計画より少なく、採算は赤字状態である。



道の駅おがわの急速充電器

農産物成就加工所

更新機器が、納品されておらず、設備更新の全容はまだ判っていない。



農産物成就加工所

機器の操作法が変わる予定で、機器管理の担当者も移行する計画である。

機器管理者の操作指導のもと、一般村民の利用も可能になる予定。

残土処理場（舞袋）

現在山積みになっている残土の埋め立て場所として、県道法面のくぼ地部分を村が購入する。平地にする工事及び跡地の利用については、まだ決まっていない。



林りん館周辺

支障木伐採箇所

林りん館に隣接して、防災無線の発信基地（鉄塔及び発信装置）がある。受信不具合解消の為、周辺の支障木の伐採を進める。

北側（瀬戸川方面）、西側（小根山町方面）の電波妨害樹木を伐採予定である。

今後の樹木の生長を考慮すると、伐採範囲の拡充が必要と考えられる。

備蓄倉庫

（サンリング・中学校）

災害時に備え、サンリング駐車場の西南側と中学校校舎の北側、2カ所に設置されている。現在、最大収容量の4分の1程度の災害備蓄商品が収納されている。

トイレトレーラー

（小学校）

災害時、水洗トイレが使用できない場合、緊急利用することを前提としたトイレである。専用の公用車で牽引可能で個室2部屋で、1回ずつ、専用ビニール袋に収納・廃棄するタイプになる。夜間も、

車両から照明が利用可能である。

《所管事務調査》

【総務課関係】

市営バス事業

4月からの市営バスの運行状況は、増便の影響もあり利用者が増加傾向である。

税金の納入状況

滞納繰り越し分の滞納率は昨年より若干上がっている。現年分は5月末出納閉鎖で昨年の収納率を目指している。

びつくらんど小川の
あり方検討委員会

検討委員は15名位を目安に、課長、利用者、各種団体、学校関係、PTA代表及び一般公募村民などを予定している。議員は委員に入っていないが、議会への途中経過、状況報告を望む。

【建設経済課関係】

大久保橋の工事予定

工事の遅れはあるが、10日以内で全面通行止めが予定され、遅くとも年内には竣工予定。美会集落側の取り付け道

路の工事は8年度中開始、9年度中に開通の見込み。

鳥獣被害（猿）

猿の昨年度の駆除頭数は3頭。

猿が頻繁に現れる地区の方には、ロケット花火を希望者に渡している。鳥獣被害防止柵設置事業を一部拡充、上限額を20万円とし、個人及び共同の設置に差が無く購入金額の3分の2としている。

大洞の農物産館

指定管理の応募希望者があると聞いたが現状はどうか。担当係には申し込みが無い。積極的広報活動を実施すべき又は売却の方向性を決定する時期と考える。

【陳情継続審査】

「最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書の採択を求める陳情」地域、業種別の最低賃金が違うので、今回は継続審査とした。

委員会報告

社会文教常任委員会

閉会中の委員会活動

5月15日（金）、委員全員のほか議長、委員外議員5名が出席し、村内の現地視察、所管事務調査を行った。

《管内視察》

公民館

社会教育関連施設の改修工事状況、4月18日に発生した北部地域地震の被害状況を確認した。



公民館工事状況の説明を受ける

主な工事として、旧館ベランダ下部塗装剥離補修、新館外部階段裏塗装剥離補修、軒下壁面コンクリートクラック及び剥離修繕、屋根塗装、屋

外排水管更新、正面玄関上部大屋根樋修繕。

他に空調機器更新、二階ホール及び図書館雨漏り修繕等で、総額2800万円に及ぶ工事内容であった。

地震の影響としてはガラスのクラック、二階照明の脱落等、軽微なものであった。復旧費用は補正予算で計上される。

びっくらんど小川

受変電設備機器更新工事及びトイレの洋式化工事の完成後の視察を行なった。

地震の影響については、アーリーナの軽量天井が枠から外れた箇所があったが、すぐに修理をおこなった。

蛍光管・

乾電池回収場所

4月から企業センター横のおひさまハウスで、蛍光管・乾電池の回収が平日の時間内に実施されている現場を確認した。

異物の混入もあり、利用者

には分別して持ってきてほしい。モバイルバッテリーについては家電量販店などで処分してほしいとの事であった。



蛍光管・乾電池の回収場所

《所管事務調査》

〔住民福祉課関係〕

令和7年度分国保税の未納は過年度分、現時点で6世帯66万4200円。現年度の未納分は11世帯78万5千円で収納率がおちている。現年度分をまず徴収努力し、更に過年度分を徴収して収納率を上げられるよう努力していくことを指示した。

集落支援員の活動報告として、おらほのえんがわは年間47回、延べ505人で、一回当たり約11人。出張おらほの

えんがわは52回、延べ4171人の参加。おらほ市は年5回、延べ243人が参加した。

内容としては、尺八と詩吟、落語、アコギ会のコンサートなどであった。

シニアクラブで主催した村長と語る会の開催通知は、会員も含めよく考えて発出した方がよいと意見があったので今後の課題とするよう促した。

診療所のスタッフが4月から変わり、電子カルテの操作事務に外部から指導が入っている。本来なら庁内で引き継ぎできるのが普通であり、今後の課題となる。

福祉企業センターは就業支援の立場から施設長と連携して、新規事業の開拓、多品種の作業訓練を行い、経験を活かして行けるよう要望した。

〔教育委員会関係〕

令和8年度文部科学省生成AIパイロット校事業参加へ小川村教育委員会として申請を行ない2つの区分で採択内定を受けた。

B区分・校務利用

教職員の働き方改革の一環で、生成AIを日々の校務に活用し、業務改善を行い取り組みの実践を創出する。

内容としては、児童生徒の指導や、学校運営に関わる校務の支援などとなる。

C区分・教材実証

生成AIを含む情報活用能力の育成に向けた教材の活用実証を行う。

内容としては、各教科における深い学びや情報活用能力育成の実践事例を創出する。

今後、教職員の業務効率化に伴う働き方改革の進展と生徒の学力向上が進んで行く事に大いに期待する。



タブレットを使った公開授業

次期議員からの報酬改定を要請

議員のなりて不足解消に議員報酬改定を要請しました。

村の議員選挙は補欠選挙を含めて3回連続の無投票当選です。なりて不足は民主主義の危機であるとして全国町村議長会は、なりて不足を解消するための一つの条件として「報酬の見直し」を挙げています。

現18期村議会議員の報酬、月15万8000円は、23年間据え置かれていることや、全国町村平均と比較しても5万円ほど低く、意欲ある立候補者が生まれていくことから「平均に近づくように報酬を検討してほしい」と報酬審議会に諮問されるよう要請しました。

次期議会議員（令和9年10月）の任期開始に間に合うように来年度の予算に反映されることを望みます。



検討チームに見守られ議長から要請書が渡された

執務室を設置

作業が捗るように執務室を設置しました。

議会だよりの編集作業や、各委員会の小会議などに利用しやすいように控室を仕切って、執務室を設置しました。5月末に完成し設置費用は33万円でした。



照明・空調はそのままの目隠しの衝立



机や椅子を寄せ衝立の設置を待つ控室

議員一人一台タブレット端末配備

国のデジタル政策に伴い議員一人一台タブレット端末が配備されました。

これまでの環境でも議会活動に支障はありませんでしたが、資料のペーパーレス化（省スペース化）、情報共有の迅速化などのメリットを見据え、新たにタブレット端末を導入しました。

機器自体は中学校の端末更新で不要となったものを初期化して有効活用し、メール環境などの準備を進めてきました。今後は、音声配信に向けた編集作業や発信への活用など、具体的な活用方法の検討を重ね皆様の大変な財源を活かし、情報発信の強化という成果で還元できるよう努めてまいります。



一議員一台端末の操作練習をする議員

全国町村議会

議長・副議長研修会

5月26日（火）

東京国際フォーラム

全国町村議会議長会主催の議長・副議長研修会に正副議長が出席した。

①「地方創生の先行き―地域未来戦略とともに―」

一般財団法人 地域活性化センター理事長

林崎 理氏

②「人口減少社会における外国人材の確保・育成の実践」

東海大学教養学部教授

万城目 正雄氏

③「男女共同参画で地域を元気に―人口減少社会を生き抜く方策―」

京都女子大学学長

竹安 栄子氏

3講演の後、宮城県蔵王町の女性議員3名と、竹安氏の対談で、竹安氏から女性目線を活かし新しい風が吹く町に変えて欲しいと話された。

（新井幹夫）

小川村観光協会主催のサッカーフェアに行ってきました。

当日は、中学校のグラウンドと大洞グラウンドの2会場でおこなわれ、それぞれ4チームが熱戦を繰り広げていました。

参加チームに小川村の単独チームはありませんでしたが、小川村の子供たちがメンバーとなっていたり、大人がコーチを務めているなど小川村に縁があるチームで、長野市や大町市からの参加でした。

選手たちの元気に走り回る姿に力強さを感じるとともにこれからの時代を担っていく子供たちに頼もしさを感じたところです。

折から世界ではサッカーのワールドカップが開催されており、ニュースなどではその熱狂ぶりが伝えられています。選手の中には将来のプロを目指す

指している子供もいるのではないかと思います。この大会を契機に世界の舞台に羽ばたいていけるような選手が出てほしいものと願っています。

日本人の本を読む量が減っていると言われています。

令和5年の文化庁の調査では、

議長雑感

議長 西沢 哲朗

1ヶ月に1冊も本を読まない人が6割を超えているといわれ、また、昨年の民間の調査では半年間の読書量が1冊未満の人は51・6%にも達しているそうです。

活字離れが進んでいるのかというところでもないようで、携帯やスマホの操作に時間を取られているのが大きな理由のようです。

本の魅力は、知識や教養が身につくことは勿論のこと、多方面にわたって参考になることが多いということや集中力を養うことができるというところが、最も大きいのではないかと思います。また、その人を成長させてくれる手段でもあると思っています。

最近では電子書籍が普及してわざわざ本屋に行かなくて本を手に入れることが出来るようですので、もっと読書に親しんだらどうかと思います。

かく言う私も読書量は年々少なくなり、年を重ねるごとに、注意力も散漫になり物事に対する意欲も薄れがちになってきましたので、集中力を高めるために読む量を増やそうと思っています。



議会の動き

5月

15 本会議 質疑

13 総務建経常任委員会

全員協議会

15 社会文教常任委員会

本会議 討論・採決

18 商工会通常総会

広報公聴常任委員会

20 土地開発公社理事会

小川村議会お邪魔します

例月出納検査

21 上水内町村議会正副議長連絡会総会

21 ながの未来塾開講式

7月 中条校を育てる懇話会

23 全国町村議会議長・副議長研修会

4 大町故郷会

26 JANAの通常総代会

9 宮西沖団地起工式

27 議会運営委員会

13 長野県町村議会議員研修会

28 薬師沢石張水路工事刈

14 県道小川長野線改良促進期成同盟会

29 広報公聴常任委員会

15 県要望箇所合同調査

30 小学校校庭運動会

14 広報公聴常任委員会

4 6月定例会招集

17 上水内町村議会議員研修会

5 本会議 議案説明

21 例月出納検査

8 本会議 一般質問

23 広報公聴常任委員会

5 本会議 一般質問

27 国道406号整備促進期成同盟会総会

8 全員協議会

29 決算審査

9 総務建経常任委員会

30 〃

10 小川教育協議会

〃

11 社会文教常任委員会

〃



村民の声

～村に思うこと～

「本当の豊かさって何だろう」

稲丘西区

宮永佳苗



私は小川村で田畑に触れながら、食べ物本来、土から生まれるものだと意識を実感しています。土の中には、たくさん微生物や命があり、その命に支えられて私たちの食卓がある。その土を守り、食を守ることは、私たちの暮らしそのものを守ることに繋がると思いま

す。

また、「小川村の人々」というラジオ番組で村の方々のお話を伺う機会をいただき、この村には本当に魅力的な方がたくさんいると感じています。それぞれの村が自分の暮らしや仕事に誇りを持ち、地域を支えています。ラジオでのご縁を通して、私自身も小川村の価値や魅力を再発見しています。

人口減少や高齢化が進む中、数字だけでは測れない価値が小川村にはあると思います。自然の中で安心して子育てができること、顔の見える関係の中で暮らせること、自分たちの手で食べ物を育てられること、などなど。これらはお金では買うことのできない村の

財産です。

これからの時代だからこそ、効率や経済性だけではなく、人と自然が共に生きる豊かさを見つめ直したい、そして子どもたちへ、この村の風景と土、人の温かさを受け継いでいけることを願っています。



お借りしている田んぼの朝

「プラスチックのこと……」

高府町区

手塚里子



日々の暮らしの中でも冬期間の燃料事情は驚くばかりでした。我が家では生活応援商品券はしっかりとそこに充てられました。その間に耳慣れた言葉『ナフサ』。これがガソリンや灯油と同じように原油から精製され、プラスチックの主な原料であることを再認識しました。プ

ラスチックは石油製品と分かっていただけで、今回のような過程や影響については気にもせず、衣食住すべての「便利」にあやかる日常があります。すでに海洋プラスチックごみが大きく報じられ、地球温暖化を季節ごとに感じている事実（またあの猛暑がやってくる

現状や減プラのヒントなどを学べる機会が、もっとあればいいなと思います。ちよつと気取ると、今住んでいる地球に向けて、ちっぽけな自分

にできるささやかな感謝の気持ちです。



プラごみの例



編集後記

令和7年9月定例会において広報公聴常任委員会が発足しました。村民の御理解を得ながら、以来6名の委員の他、全議員と協力して、活動を進めてまいりました。今まで紙ベースで行ってきた記録もデジタル配信との併用に注視しながら、一歩ずつ進めて参ります。

6月21日(日)、くつろぎの郷にて、初めての小川村議会「お邪魔します！」を開催しました。参加された皆さんから頂いた貴重な御意見をまとめて、これからの議会活動に活かしてまいります。本紙よりオールカラー化となりましたが、皆さんの御意見をお聞かせください。(坂井 正)

広報公聴常任委員会

委員長 山本 陵
副委員長 塚田 綾子
委員 坂井 正
小林 和人
大久保利廣
松本 敏照

今後、村内各地に取材活動にお伺いします。ご協力お願いします。